

---

# 法律時報

The Horitsu Jiho

**3**月号 MARCH/2016 VOL.88 No.3/1096

## CONTENTS

---

【法律時評】

トランスナショナルとドメスティックの間で揺れる最高裁……山元 一 1

■特集

# 集团的労働関係法の時代

「集团的労働関係法の時代」認識……野田 進 4

労働組合法のこれまでとこれからの課題

——「労働者」の集团的な利益代表の観点から……竹内(奥野)寿 6

集团的労働関係法における権利・義務主体論の再検討……富永晃一 14

団体交渉・労働協約の機能と新たな法的役割

——非正規労働者および非雇用就業者をめぐる解釈問題の検討を通じて……桑村裕美子 22

従業員代表制設計の検討課題……神吉知郁子 30

労働組合の変容と不当労働行為制度

——労働契約的把握及び裁判所化からの脱却……緒方桂子 37

労働委員会制度の実情と課題……山下 昇 46

---

■小特集

**動物と法**——基礎法学からの考察

企画趣旨……浅野有紀 54

動物保護の法理を考える……嶋津 格 56

動物、生類、裁判、法——日本法制史からの俯瞰と問い……新田一郎 61

野生動物法とは——人と自然の多様な関係性を託されて……高橋満彦 66

ドイツ憲法から動物保護と法を考える

——動物実験規制と人間中心主義克服を中心に……浅川千尋 71

動物保護法の日英比較——とくに動物虐待の訴追をめぐる……青木人志 76

●論説

第三者異議訴訟における対抗要件の抗弁をめぐる要件事実(上)

——差押えと対抗要件具備との先後関係という時的要素の主張・立証責任……河村 浩 81

●連載

**憲法学のゆくえ**・8-3 [最終回]

[座談会]行政学から見た日本国憲法と憲法学(後篇)

……伊藤正次・宍戸常寿・曾我部真裕・山本龍彦 86

**憲法学からみた最高裁判所裁判官**・11

最若年の最高裁オリジナル・メンバー——河村又介……赤坂幸一 95

**「国家と法」の主要問題** Le Salon de théorie constitutionnelle・9

ドイツにおけるケルゼン「再発見」と国法学の「変動」の兆し……高田 篤 101

[取引法研究会レポート][最終回]

診療債務の内容形成と診療ガイドライン……稲田和也 107

[B&Aレビュー]

石田 剛『債権譲渡禁止特約の研究』●民法学のあゆみ……松岡久和 113

[EU法判例研究]

EUの欧州人権条約加入事件……小場瀬琢磨 117

[民事判例研究]

投資信託の解約金支払債務に係る債権を受働債権とする再生債権者の相殺の可否

……西内祐介 121

[刑事訴訟法判例研究]

罪証隠滅の疑いと裁量保釈……関口和徳 125

[労働判例研究]

労務管理目的でのHIV感染情報の共有と不法行為の成否——社会医療法人A会事件……浅野高宏 129

[史料の窓]

明治31年憲政党成立前夜の貴族院会派「懇話会」……小林和幸 扉

新法令解説……133 文献月報・判例評釈……138 メモランダム……159